

3月1日～4日

たんす職人たちの技の祭典

イベント



第16回岩谷堂<sup>たんす</sup>箆<sup>す</sup>笥<sup>ぎ</sup>まつり（岩谷堂箆<sup>す</sup>笥<sup>ぎ</sup>生産協同組合主催）がえさし藤原の郷レストハウスで開催されました。たんすや仏壇など約300点が展示・販売されたほか、伝統工芸士の実演や木工製作体験などのコーナーも設置。見て、触れて、匠の技を楽しみ、会場は多くの人でにぎわいました。

3月3日

受け継がれる伝統の舞

イベント



第29回ころもがわ神楽まつり（同実行委員会主催）が国民宿舎サンホテル衣川荘で開催されました。地元5団体と、市外からの招待団体総勢7団体が10演目を披露。写真は、大森神楽保存会が演じた「岩戸開き」の一場面<sup>あま</sup>で、岩屋に閉じこもってしまった天照<sup>あま</sup>皇大神を神々が誘い出す様子を熱演し、多くの観客を魅了しました。

 このイベントは市民提案型協働支援事業補助金を活用して開催されています

3月10日

千田ソノ子さん 100歳  
（前沢五十人町）

百寿



前沢大袋に生まれ、18歳で故・卯吉<sup>う</sup>さんと結婚。2男2女をもうけ、孫9人、ひ孫7人、やしやご3人に恵まれています。「よく働き、好き嫌<sup>きら</sup>いなく何でも食べることが長生の秘訣<sup>ひけつ</sup>ではないか」と話す長男の宗男さん。家族たちに祝福され、「ありがとう」と穏やかにほほ笑んでいました。

3月17日

ユネスコ無形文化遺産登録を目指す

イベント



本市と北上市の国指定重要無形民俗文化財「鬼剣舞」4団体による「風流<sup>ふうりゅう</sup>特別公演」が、胆沢文化創造センターで行われました。2022年のユネスコ登録に向けて、民族芸能「風流」をアピール。胆沢の朴<sup>はく</sup>ノ木沢<sup>のき</sup>念仏剣舞、衣川の川西大念仏剣舞など熱のこもった踊りに大きな拍手が送られていました。

3月22日

小泉ミヨノさん 100歳  
（水沢田小路）

百寿



胆沢南都田に3人きょうだいの長女として生まれました。故・えな吉さんと結婚し、2男2女をもうけ、孫7人、ひ孫4人に恵まれています。みそ汁やご飯、パンを食べ、よく体を動かしていることが長寿の秘訣<sup>ひけつ</sup>。ミヨノさんは「こんなに長生きできるとは夢にも思わなかった」と驚いていました。

3月22日

祭りの魅力を笑顔でPR

イベント



第46回江刺甚句まつりのPR活動を行う「江刺甚句むすめ」の委嘱状交付式が江刺総合支所で行われました。昨年の25歳年祝連紫月<sup>むらぎ</sup>琉<sup>りゅう</sup>から選ばれた（写真左から）浦沢桃子さん、及川芽生さん、佐藤麻織さんの3人は「祭りの顔として、江刺の良さを元気いっぱい発信したい」と抱負を語りました。

3月10日

魂を揺さぶる伝統芸能

イベント



胆沢郷土芸能まつりが胆沢文化創造センターで開かれ、伝統芸能を伝承する8団体が出演しました。この日の見どころは、南下幅<sup>みなみした</sup>念仏<sup>ねんぶつ</sup>剣舞<sup>けんばい</sup>と行山流<sup>ぎやうざんりゅう</sup>都鳥鹿<sup>とどりしか</sup>踊<sup>おどり</sup>の両保存会が、お互いに出会った際の所作「仁義」が約半世紀ぶりに行われた場面。詰め掛けた観客は、貴重な場面を真剣な表情で鑑賞していました。

3月15日

差別や偏見のない社会を目指して

市政



市職員らを対象とした「男女共同参画セミナー」が江刺総合支所で行われました。本セミナーは、県男女共同参画センターの出前講座を活用したものです。講師の加藤麻衣さんは、性の多様性をテーマとして、性自認、性的指向などを分かりやすく説明。参加者は講演やグループ討議を通じてLGBT（性的少数者）への理解を深めました。

3月17日

学びやとの別れを惜しむ

イベント



田原中学校（村上俊明校長、生徒3人）で閉校式が行われました。生徒を代表して梅原彩乃さん（3年）が「72年の歴史と伝統を誇りに思う。ここでの思い出が未来への懸け橋となってほしい」と別れの言葉を述べ、最後に生徒、教職員、卒業生ら約230人が校歌を歌って、72年の歴史に幕を下ろしました。

3月24日

ジャンルを超えた音楽会

イベント



「みんなで楽しむ音楽会 第1回リレーコンサート」が前沢ふれあいセンターで開催されました。3歳から90代までの音楽活動をしている個人・団体が、独唱や合唱、ピアノ、管楽器、オカリナ、エレキギターの演奏など個性あふれるステージを披露。最終演目の合唱ではステージと客席が一体となって音楽を楽しみました。

3月26日

地域の名木を次世代に

イベント



市江刺行政区長協議会（高橋俊彦会長）は歴史公園えさし藤原の郷に、市指定天然記念物「梁川のエドヒガン（種蒔桜）」の苗木6本を植樹しました。苗木は梁川地区行政区長会長の小澤祐耕<sup>ゆうこう</sup>さん（72）が種から育てたもので、「藤原の郷の来場者に親しまれる桜に成長してほしい」と苗木に願いを込めました。

3月31日

春の奥州、祭りのトップを飾る

イベント



羽田<sup>かほうさい</sup>町火防祭が水沢羽田町の本町通りを会場に開催されました。写真は、祭りの名物である鋳物屋台を、33歳厄年連「卯華月<sup>ぼうかつ</sup>」が先導し、屋台に乗り込んだ小中学生らが「羽田町剣ばやし」を披露。雪が降るあいにくの天候でしたが、太鼓や三味線の音が響き渡ると、沿道からは大きな拍手が送られました。